

電気錠 (タッチキー) 仕様

取扱説明書

このたびは弊社の商品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
この商品を正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は、いつでもお読みいただけるよう
大切に保管してください。

目 次

1. 電気錠(タッチキー)仕様について	2~4
2. 各部の名称	5・6
3. お使いいただく前に	7
4. 携帯器の登録方法	8・9
5. 携帯器の電池交換方法.....	10
6. 操作方法.....	11~14
7. 携帯器を紛失した場合の対処方法	15
8. 停電になった場合の対処方法	15
9. お手入れについて	15
10. 不具合対応について	16
11. 商品仕様.....	17
12. 商品保証について	18

販売店・工務店様へ

この取扱説明書は、施工後、お客さまへ必ずお渡しください。

本書には、電気錠仕様の固有な事項のみを記載しています。
電気錠仕様以外の事項については、別冊の取り扱い説明書をご確認ください。

1. パッシブキー電気錠仕様について

受信機のボタン操作で施錠

携帯器を身につけて、受信機の施錠ボタンを押すと、上下のサムターンが連動して施錠されます。
(受信機のボタン操作は、携帯器が振動を検知している場合にのみ施錠の操作が可能です)

[携帯器が確実に作動する範囲は20～80cm※]

※玄関ドア周辺の電波環境により携帯器の発信範囲が狭くなる場合があります。

帰宅時



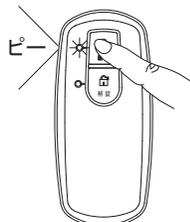
室外側

携帯器を身につけて、受信機の解錠ボタンを押して、解錠します。
※解錠後、約10秒以内に扉を開かないと自動的に施錠されます。



室内側

ドアを閉めて受信機の施錠ボタンを押して、施錠します。
※扉が開いていると施錠しません。



外出時

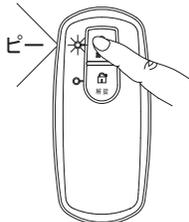
室内側

携帯器を身につけて、受信機の解錠ボタンを押して、解錠します。
※解錠後、約10秒以内に扉を開かないと自動的に施錠されます。



室外側

ドアを閉めて受信機の施錠ボタンを押して、施錠します。
※扉が開いていると施錠しません。



受信機のボタン操作は、携帯器が振動を検知している場合にのみ施錠の操作が可能です。
必ず携帯器に振動を与えた状態で、受信機のボタン操作を行ってください。
携帯器が静止している状態で、受信機のボタン操作を行うと「ピピッ……」と電子音が鳴り施錠されません。電子音が鳴っている間に携帯器に振動を与えると施錠されます。

リモコン操作で施錠

携帯器の施錠ボタンを押すと、上下のサムターンが連動して施錠されます。
誤ったボタン操作で解錠しても扉が開かなければ、約25秒後に自動施錠します。

[作動範囲は3m以内※]

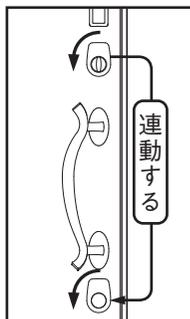
※玄関ドア周辺の電波環境により携帯器の交信範囲が狭くなる場合があります。



キー、サムターン操作(手動)で施錠

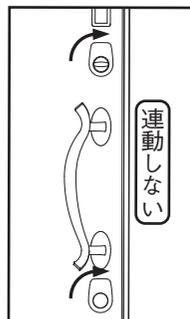
施錠時

上下どちらかのキー、またはサムターン操作で施錠すると、もう一方も連動して施錠されます。



解錠時

上下どちらかのキー、またはサムターン操作で解錠しても、もう一方は連動しません。5秒以内に上下両方のキーまたはサムターン操作で解錠してください。



ピッキング防止配慮機能

常時2つの電動サムターンの施錠状態が保たれています。万一、1つ目のシリンダーがピッキングにより不正解錠されても、5秒後に1つ目のシリンダーが再び自動施錠されます。



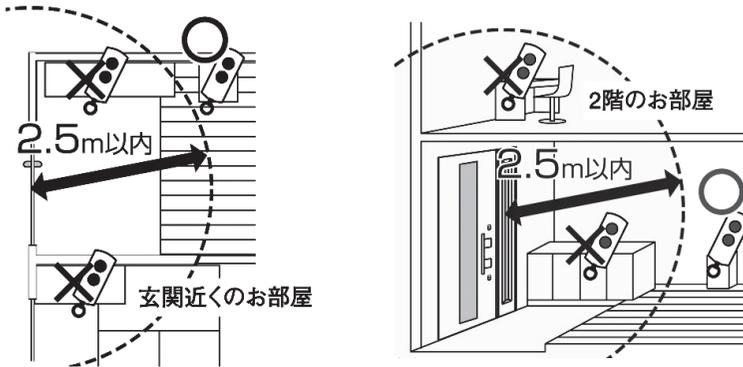
携帯器置き忘れ防止機能

携帯器の置き忘れを警告、外出時の締め出しを防止します。

受信機(室内外)の「施錠ボタン」を押した時、交信範囲内(2.5m)に身につけている携帯器(振動を検知している)以外の携帯器が静止状態で放置されていると置き忘れ警告音「ピッピッ……」と電子音が鳴り、施錠しません。

この場合、放置してあった携帯器は反応停止となります。この携帯器は施錠または解錠ボタンを押すことで、携帯器の機能が戻ります。

【携帯器の置き場所について】



『×』のような位置に携帯器を放置すると「携帯器置き忘れ防止機能」が作動し施錠できません。

置き忘れ機能はありますがより安心してお使いいただくため、携帯器は受信機を中心に2.5m以内に放置しないでください。

■携帯器の作動範囲について

- 20cm以内 : 携帯器が作動しない場合がある範囲
- 20～80cm以内 : 携帯器が確実に作動する範囲
- 2.5m以内 : 携帯器が作動する場合がある範囲

リロック機能

受信機のボタン操作や携帯器のリモコン操作などで解錠後、扉を開けないと自動的に再施錠する機能です。各解錠操作によるリロック機能作動時間は下表の通りです。

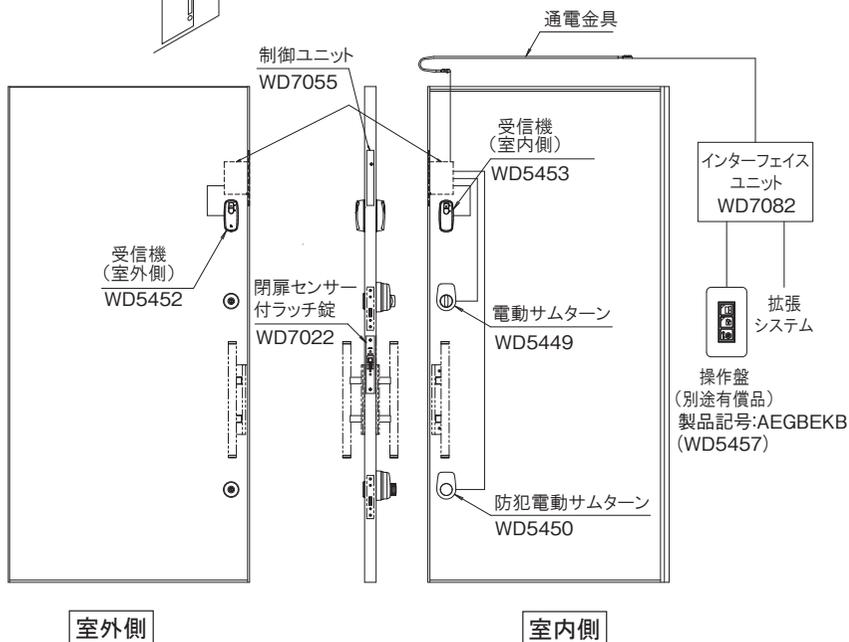
上下解錠後、リロック機能作動時間以内に扉を開けるとリロック機能は解除されます。

解錠操作		リロック機能作動時間
受信機のボタン操作による解錠		約10秒
携帯器でのリモコン操作による解錠		約25秒
キー、サムターン 操作	上下一方のみ解錠	約5秒
	上下とも解錠	約10秒
操作盤での解錠		約10秒

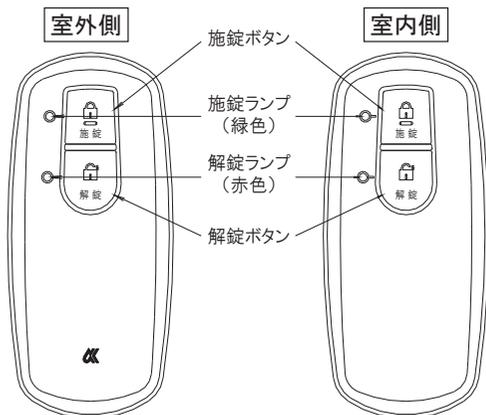
※解錠操作により、リロック作動時間が異なりますのでご注意ください。

2. 各部の名称

■引き戸 (スライディング)



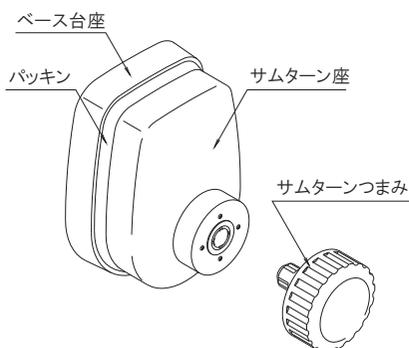
■受信機



施錠ランプは、錠が施錠状態の時
 室外側: 緑ランプ点灯(約1.5秒)
 室内側: 緑ランプ点灯(常時)

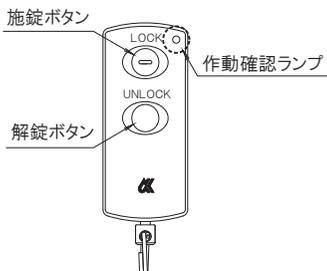
解錠ランプは、錠が解錠状態の時
 室外側: 赤ランプ点灯(約1.5秒)
 室内側: 赤ランプ点灯(常時)

■防犯サムターン



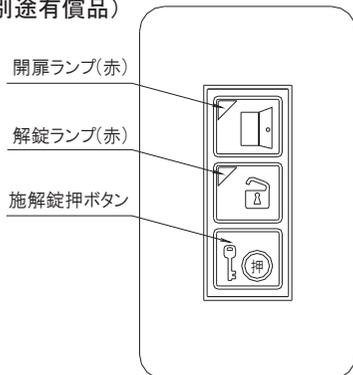
■携帯器

WD5456



- 携帯器の作動範囲
 20cm 以内: 作動しない場合がある。
 20cm~80cm 以内: 確実に作動する。
 80cm~2.5m: 作動する場合がある。
 2.5m 以上: 作動しない。
- リモコン交信範囲: 約3m

■操作盤(別途有償品)



開扉ランプは、
 扉が開いている時、ランプ(赤)が点灯します。

解錠ランプは、
 錠が解錠状態の時、ランプ(赤)が点灯します。

3. お使いいただく前に

お使いいただく前に、以下の点について必ずご確認ください。

- 携帯器を使用して施錠する場合には、制御ユニットへの登録が必要です。次項の「携帯器の登録方法」を参照の上、全ての携帯器を登録してからご使用ください。

■ご使用時のお願い

施錠された後は、受信機の施錠ランプが点灯しますので、お出かけの際は必ず、受信機の施錠ランプの点灯を目視し、正しく施錠された事を確認して下さい。

外に出る時は、携帯器だけでなく緊急の場合に備えて、手動用キーもお持ちください。凍結、停電、電池切れや故障時など解錠できない場合があります。

- 電気錠（タッチキー）の作動中（サムターンの回転中）および電子音になっている間は、ハンドル・サムターンを操作しないでください。作動完了前（電子音が鳴り終わる前）にハンドル・サムターンを操作すると故障する場合があります。
- 清掃時にホースなどで、電装部品に直接水をかけないでください。電装部品の故障の原因になります。
- 携帯器を水にぬらさないでください。水にぬれると故障するおそれがあります。
- 玄関ドア周辺の電波環境により携帯器の交信範囲が狭くなる場合があります。
- 心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、念のため医療機器メーカー様にご相談ください。
- 取り外しや改造・分解はしないでください。
- 携帯器は常時電波を受信していますので、強い電波を受信し続けた場合、電池を著しく消耗することがあります。携帯器をテレビ・パソコンなどの家電製品の近くに長時間放置しないでください。

4. 携帯器の登録方法

はじめに下記の要領で携帯器の登録を行ってください。

工場出荷時は、携帯器の登録はされていません。

携帯器は、最大8個まで登録できます。

(携帯器は標準で2個付属していますが、それ以上必要な場合は別途有償品で用意しています)

携帯器の追加手配は、建築会社様・工務店様または販売店へご連絡の程、お願いします。

携帯器の記号は『WD5456』とお伝えください。

登録および登録後の動作確認を行う際には、必ず携帯器のほかに鍵を準備して行ってください。

[登録手順]

- ①制御ユニットのフロント部のねじをはずし、制御ユニットフロントをはずしてください。(図-1)
※ねじは小さいので紛失にご注意ください。

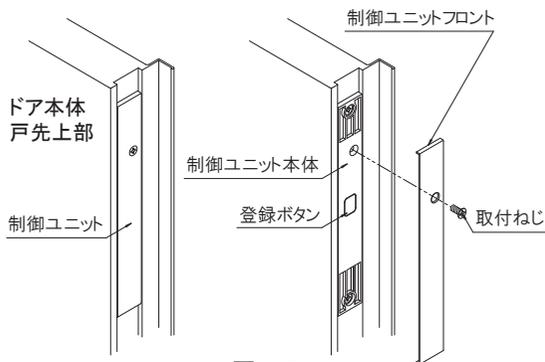


図-1

- ②制御ユニット本体の登録ボタンを押したままの状態にしてください。(図-2)

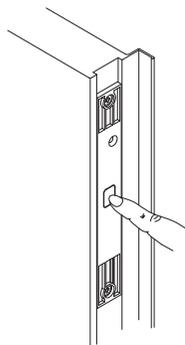


図-2

- ③登録したい携帯器の施錠または解錠ボタンを2回押してください。作動確認ランプ(赤)が点灯します。(図-3)
- 1 回目のボタンを押した時: 電子音が「ピッ」と1回鳴ります。
 - 2 回目のボタンを押した時: 登録がO.K であれば、電子音が「ピー」と1回鳴ります。
登録がN.G であれば、電子音が「ピーピーピー」と3回鳴ります。

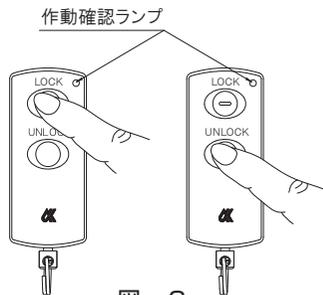


図-3

※続けて登録する携帯器がある場合は、②・③の作業を繰り返してください。

※携帯器を登録する間に登録ボタンを離しても、再度登録ボタン押せば登録は継続されます。

※扉を閉じて施解錠動作を行うと、登録状態が完了します。登録途中で、施解錠動作を行った場合は、最初からやり直してください。(次項追加登録参照)

- ④登録後、制御ユニットのフロントを、制御ユニット本体に下端を引っ掛けてから、ねじで確実に取り付けてください。(図-4)

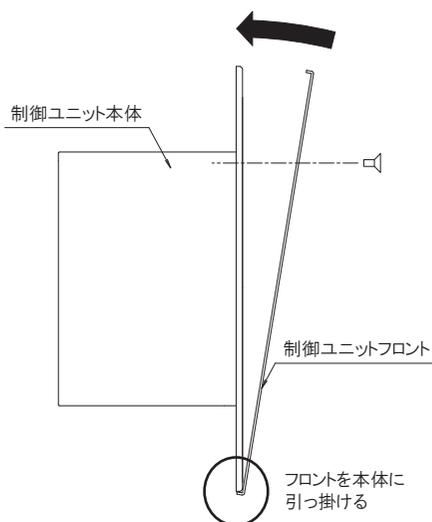


図-4

- ⑤全ての携帯器を登録後、扉を閉じ、操作方法(P12・13)の手順に従って、登録した全ての携帯器で施錠動作の確認を行ってください。

■携帯器の追加登録について

携帯器を追加登録する場合、1個目の登録を行うと使用中の登録済携帯器は全て登録解除されます。

追加分と登録済分の全ての携帯器を準備した上で登録を行ってください。

5. 携帯器の電池交換方法

電池が消耗していると、携帯器の作動ランプが暗くなってきます。その場合、速やかに電池を交換してください。

携帯器は常時電波を受信していますので、強い電波を受信し続けた場合、電池を著しく消耗することがあります。また、全く使用しない場合でも、電池は消耗します。

携帯器の電池寿命は、約2年程度です。

携帯器に組み込み済みの電池は、テスト用電池です。電池容量が少なくなっている場合があります。ご使用開始時には、新品の電池に入れ替えることをおすすめします。

携帯器をテレビ・パソコンなどの家電製品の近くに長時間放置しないでください。

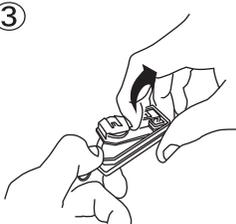
[交換手順]

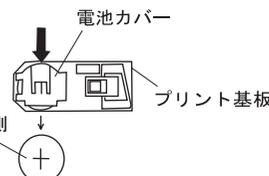
- 

ねじはケースからとれない場合があります。

プラスドライバーにてねじをはずし（空回りするまでゆるめ）、矢印の部分にマイナスドライバーなどを入れ、ケースをはずしてください。ねじはなくさないようにご注意ください。
- 

灰色のゴムパッキン

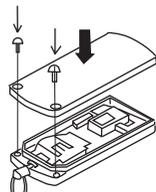
灰色のゴムパッキンがケースからはずれないように押さえ、両手でケースを固定してください。
- 

矢印方向に力を加え、プリント基板のみを取り出してください。
- 

電池カバー

プリント基板

電池 (+) カバー側
(-) 基板側

矢印の方向から電池を押し出して、新しい電池と交換してください。電池の極性 ((+) (-)) に注意してください。
- 

電池交換後、プリント基板が灰色のゴムパッキンをかみ込んでいないことを確認してからケースをしっかりはめ、ねじで固定してください。

携帯器用の電池は、コイン型リチウム電池 (CR2032) です。カメラ店、家電販売店などで買い求めいただけます。

電池交換時、静電気を体内に帯電させた状態だと、携帯器の基板が故障してしまう可能性があります。

電池交換をする際は、静電気を逃がしてから行ってください。(金属製のものに手をあてるなどして逃がしてください)

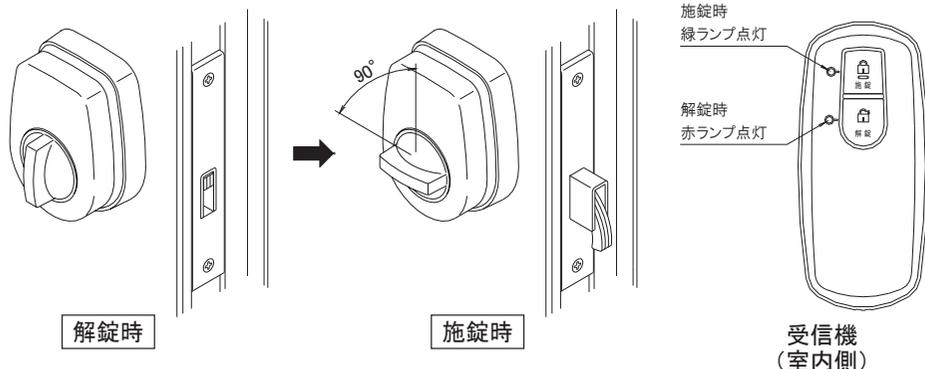
また、セーターなど静電気のたまりやすい衣服を着たまま行わないでください。

6. 操作方法

1. サムターン(手動)の操作

サムターンを90°まわすと施解錠できます。

- 施解錠の確認は、受信機(室内側)の施錠・解錠ランプで行います。上下のサムターンが施錠状態もしくは解錠状態のとき、受信機(室内側)のランプが点灯(常時)します。



2. 防犯サムターン(手動)の操作方法

ガラスを割ってサムターン操作し侵入する「ガラス破り」を防ぐため、下側サムターンはつまみが脱着できます。通常サムターンと同じように90°まわすと施解錠できます。

- 施解錠の確認は、受信機(室内側)の施錠・解錠ランプで行います。上下のサムターンが施錠状態もしくは解錠状態のとき、受信機(室内側)のランプが点灯(常時)します。
- 施錠時または解錠時、どちらの場合でもつまみの脱着はできます。

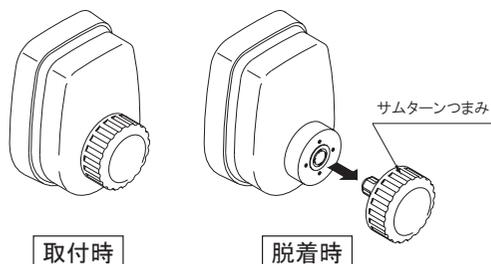
[つまみのはずし方]

サムターンのつまみを手前に抜いてください。

[つまみの取り付け方]

サムターンのつまみを奥まで確実に押し込んでください。

取り付け後は、施解錠が正しく行えるかを確認してください。



防犯サムターンのつまみをはずしご使用の時は、つまみを常にドアの近くに置いてください。停電等の緊急時に、はずしたつまみがないと錠の操作ができず、外に出られなくなるおそれがあります。また、防犯サムターンのつまみは2個標準装備しております。予備のつまみはドア付近の決められた場所に保管し、緊急時ご家族の皆様がいつでもご使用できるようにしておいてください。

サムターン操作の場合、施錠時は上下のサムターンは連動して動きますが、解錠時は連動して動きません。

サムターン操作の場合、上下どちらか一方だけを解錠状態にすると5秒後に再施錠されます。また、上下とも解錠後約10秒以内に扉が開かないと自動的に施錠されます。

3. 受信機のボタン操作方法

携帯器を身に付けて、受信機の施錠・解錠ボタンを押すことで上下のサムターンが連動して施錠・解錠できます。

- 施解錠の確認は、受信機の施錠・解錠ランプにて行います。

[施錠する場合]

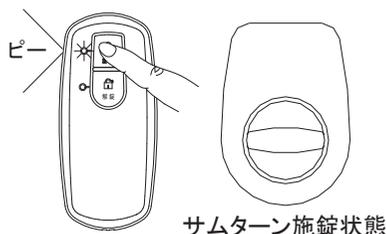
携帯器を身に付けて、受信機の「施錠」ボタンを押してください。

上下サムターン施錠後、電子音が「ピー」と1回鳴り緑ランプが点灯します。

室外側：緑ランプ1.5秒点灯

室内側：緑ランプ常時点灯

※扉が開いていると施錠しません。



[解錠する場合]

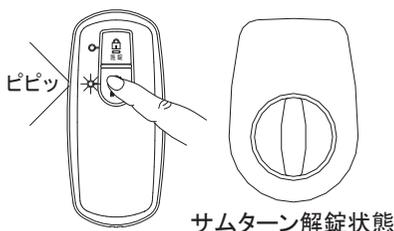
携帯器を身に付けて、受信機の「解錠」ボタンを押してください。

上下サムターン解錠後、電子音が「ピピッ」と2回鳴り赤ランプが点灯します。

室外側：赤ランプ1.5秒点灯

室内側：赤ランプ常時点灯

※解錠後、約10秒以内に扉が開かないと自動的に施錠されます。



受信機のボタン操作は、携帯器が振動を検知している場合のみ施解錠の操作が可能です。必ず携帯器に振動を与えた状態で、受信機のボタン操作を行ってください。

携帯器が静止している状態で、受信機のボタン操作を行うと「ピッピッ……」と電子音が鳴り施解錠されません。電子音が鳴っている間に携帯器に振動を与えると施解錠されます。

受信機(室内外)の「施錠ボタン」を押した時、通信範囲内(2.5m)に身につけている携帯器(振動を検知している)以外の携帯器が静止状態で放置されていると置き忘れ警告音「ピッピッ……」と電子音が鳴り、施錠しません。



携帯器が複数個登録されている場合、振動を与えても反応に時間がかかる場合があります。受信機は登録順に携帯器の信号を確認しますので、登録個数が多いほど反応に時間を要します。

4. 携帯器のリモコン操作方法

受信機に向けて、携帯器の施錠・解錠ボタンを押すことで上下のサムターンが連動して施錠・解錠できます。

- 施解錠の確認は、受信機の施錠・解錠ランプにて行います。

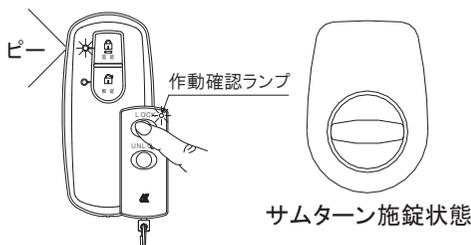
[施錠する場合]

受信機に向けて、携帯器の「施錠」ボタンを押してください。作動確認ランプが点灯します。上下サムターン施錠後、電子音が「ピー」と1回鳴り緑ランプが点灯します。

室外側: 緑ランプ1.5秒点灯

室内側: 緑ランプ常時点灯

※扉が開いていると施錠しません。



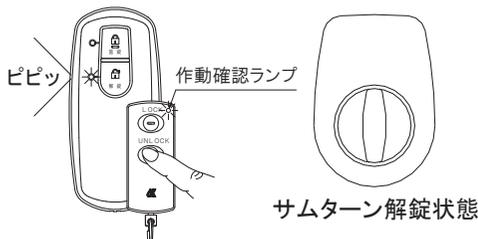
[解錠する場合]

受信機に向けて、携帯器の「解錠」ボタンを押してください。作動確認ランプが点灯します。上下サムターン解錠後、電子音が「ピピッ」と2回鳴り赤ランプが点灯します。

室外側: 赤ランプ1.5秒点灯

室内側: 赤ランプ常時点灯

※解錠後、約25秒以内に扉が開かないと自動的に施錠されます。



■施解錠動作に異常が生じた場合

作動途中に施錠もしくは解錠できなかった場合、電子音が「ピピピピピ」と5回鳴り、その後赤色・緑色ランプが同時に5秒間点滅し、異常を知らせます。

※錠がストライクに確実におさまっているか確認し、建て付け調整を行ってください。

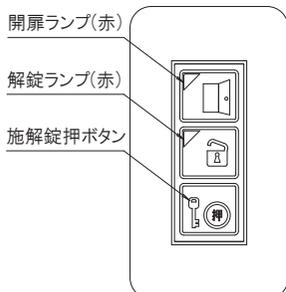
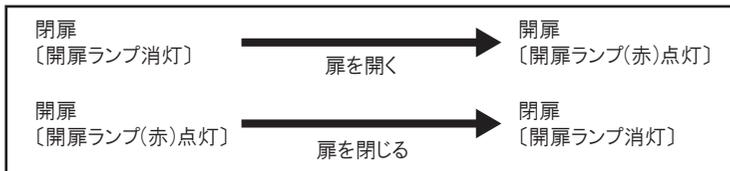
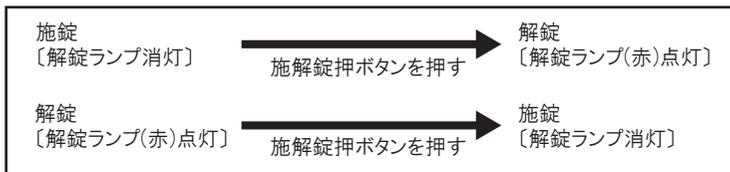
また、異常が発生し上下どちらか一方だけ施錠されている場合でも、受信機のランプ表示は「施錠」ランプ表示となります。

再度、施解錠操作を行い上下とも施錠してください。

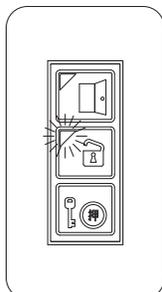


5. 操作盤(別途有償品)の操作方法

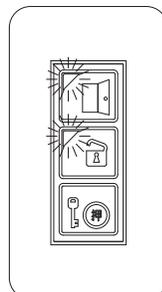
操作盤の施錠押ボタンを押すことで、扉の施錠ができます。
開扉ランプで、扉の開閉状態が確認できます。



【施錠状態】
開扉・解錠ランプは
消灯しています。



【解錠状態】
解錠ランプ(赤)が
点灯します。



【開扉状態】
開扉・解錠ランプ(赤)が
点灯します。

7. 携帯器を紛失した場合の対処方法

携帯器を紛失された場合は、紛失した携帯器を登録から削除し、使用不可にしてください。紛失した携帯器を登録から削除するには、紛失した携帯器以外の全ての携帯器を再登録してください。（携帯器の登録方法は、P. 8を参照してください。）携帯器の登録システムは、新たな携帯器の登録を行うことで過去に登録された携帯器は全て削除されます。

外に出る時は、携帯器だけでなく緊急の場合に備えて、手動用キーもお持ちください。

8. 停電になった場合の対処方法

停電時、電氣的操作ができなくなった場合は、鍵またはサムターンで手動操作し施解錠してください。電気錠作動中に停電で途中で動かなくなった場合、鍵またはサムターンで通常より強く回してください。その際、「ガチッ」と音が発生しますが故障ではありません。その後、通常に手動操作が可能になります。

外に出る時は、携帯器だけでなく緊急の場合に備えて、手動用キーもお持ちください。

9. お手入れについて

長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1～2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

汚れは、柔らかな布、スポンジなどで水洗いにより、洗い落としてください。金属たわしなどでこすると、表面にキズがつき腐食のもとになりますので、使用しないでください。水洗いで取れない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて柔らかな布などを使って洗い落としてください。洗剤使用後は十分に水洗いを行ない、乾いた布で水分を拭き取ってください。



有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やタイル用の酸性洗浄剤やアルカリ性洗浄剤は、表面を侵し腐食のもととなりますので、使用しないでください。



ホース等で、電装部品に直接水をかけないでください。電装部品の故障の原因となります。

10. 不具合対応について

■ 保守点検について

ご使用中に次のような現象・兆候が発生することがあります。そのまましておきますと、人身事故などの原因になるおそれがあります。次のような不具合がないかどうか、お手入れの時などを利用して点検して処置してください。

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
全く作動しない。 受信機(室内外)の施錠ランプが点灯しない	停電等によりシステムに電源が供給されていない。	落ちているブレーカーがないか確認してください。他の電気製品等の動いているか確認してください。
受信機(室内外)の施錠／解錠ボタン・携帯器の施錠／解錠ボタン、どれを押しても作動しない。	携帯器が作動範囲内不在。	携帯器の作動範囲、リモコンの交信範囲を確認してください。(P.6)
	携帯器の電池が消耗している。	電池を交換してください。(P.10)
	携帯器が登録されていない。	携帯器を登録してください。(P.8)
	扉が確実に閉まっていない。 ラッチ錠がかかっていると作動しません。(引き戸のみ)	扉を閉めて、ラッチ錠が確実にかかっていることを確認してください。 ラッチ錠がかかりにくい場合は、枠のラッチ受けの調整をおこなってください。 (別冊の取り扱い説明書を参照ください)
受信機(室内外)の施錠／解錠ボタンを押しても施錠しない。	身に付けている携帯器の振動を検知していない。 (携帯器が静止していると判断している。)	受信機のボタン操作は、携帯器の振動を検知している場合のみ施錠が可能です。(P.12) 携帯器に振動を与え、受信機のボタン操作をしてください。
	携帯器が反応停止になっている。	携帯器の施錠／解錠ボタンをおしてください。(P.4)
	扉が確実に閉まっていない。 ラッチ錠がかかっていると作動しません。(引き戸のみ)	扉を閉めて、ラッチ錠が確実にかかっていることを確認してください。 ラッチ錠がかかりにくい場合は、枠のラッチ受けの調整をおこなってください。 (別冊の取り扱い説明書を参照ください)
受信機(室内外)の施錠ボタン、携帯器の施錠ボタンを押しても施錠しない。 モーター作動音がし、数秒後「ビビビ」と電子音が鳴り、受信機の施錠／解錠ランプが点滅する。	錠がストライクに確実におさまっていない。	ストライク調整を行ってください。 (別冊の取り扱い説明書を参照ください。)
携帯器の作動距離が極端に短くなり作動確認ランプが暗くなってきた。	携帯器の電池が消耗している。	電池を交換してください。(P.10)
受信機(室内外)の施錠ボタン、携帯器の施錠ボタンを押すと、作動後解錠し緑色ランプが点灯する。 受信機(室内外)の解錠ボタン、携帯器の解錠ボタンを押すと、作動後施錠し赤色ランプが点灯する。	扉の勝手と制御ユニットの勝手が間違っています。	施工店様、工務店様またはハウスメーカー様にお問い合わせください。
携帯器を身につけているのに受信機(室内外)の施錠／解錠ボタンでできず、「ビビッ……」と電子音が鳴る。 (置き忘れ防止機能が働く。)	身に付けている携帯器の振動を検知していない。 (携帯器が静止していると判断している。)	受信機のボタン操作は、携帯器の振動を検知している場合のみ施錠が可能です。(P.12) 携帯器に振動を与え、受信機のボタン操作をしてください。
	身に付けている携帯器以外に別の携帯器が近くに置き忘れられている。 (施錠時のみ)	別の携帯器を検知範囲外においてください。(P.4) また、「ビビッ……」と電子音が10秒間たった後であれば、別の携帯器は反応停止になっていますので、施錠が可能です。

以上の処置をしても直らなかつたり原因が見当たらない場合は、ご自分で分解や修理をなさらず、必ず建築会社様・工務店様または販売店に修理を依頼してください。

11. 商品仕様

■ 受信機側仕様

動作電圧	AC90V～AC110V(I/F ユニット供給電源)
動作電流	最大0.15A
送信周波数(LF)	125.0KHz
送信変調方式(LF)	ASK
送信強度(LF)	微弱(国内電波法)
受信中心周波数(UHF)	315.0MHz
登録可能ID数	最大8個

■ 携帯器側仕様

動作電圧	DC2.5V～DC3.3V(CR2032 コイン型リチウム電池)
動作電流	最大15mA
送信周波数(UHF)	315.0MHz
送信変調方式(UHF)	FSK
送信強度(UHF)	微弱(国内電波法)
受信中心周波数(LF)	125.0KHz
電池寿命	約2年(施・解錠5回/日)
ID違い数	40億以上(理論上)

■ 交信性能仕様

携帯器交信範囲	約1m
リモコン交信範囲	約3m

※設置環境により交信性能は変動します。

■ 消費電力

- 動作時……約4.2W
- 待機時……約2.5W

12. 商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行なう事をお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は最寄りの当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■対象商品

住宅用建材商品

■保証期間

施工者より商品の引き渡し日（注1、注2）から起算して次の期間とします。

- ①商品の不具合については2年間（電装部品については1年間）。
- ②商品からの雨水浸入については10年間（但し、窓が閉まっていて施錠状態に限る）。

注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日を起算日とします（ただし、保証対象は改修部分のみ）。

注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日を起算日とします。

■保証内容

取扱い説明書、本体貼付ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。（詳細は取扱い説明書をご参照ください）。

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）
- ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所（店舗など）に取付けられた場合の不具合
- ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）、木製品の反り、曲がり、ねじれ、ささくれ、ひび割れ、色褪せ、変色などや経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かび又はその他類似の不具合
- ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
- ⑥環境が特に悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガス、給湯機器等の燃焼ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑦メンテナンス上の不備に起因する商品の不具合（例えば、商品又は部品を長期間、清掃（水洗い等）をしない事によっておきる腐食、シミ、汚れの発生など）
- ⑧天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨実用化されている技術では予測及び防止することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪植栽による不具合（例えば、商品に隣接した植栽による開閉障害、根による防水層の破損など）
- ⑫引渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理（お手入れ）を行わなかったことによる不具合
- ⑬お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
- ⑭本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑮犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間経過後の修理、その他についてご不明な場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

